

## 「個別の指導計画」記入例 6

「自分のペースを守ろうとしたり、思ったことをすぐに言葉に出してしまったりしてトラブルになりやすい」高等学校 1 年生の記入例です。

様式 1 は、各教科に共通する指導の目標を記入しています。

様式 2 は、特に支援や配慮が必要な教科及び HR 活動ごとに、具体的な支援の方法を記入するとともに、「その他」に、定期考査の際の配慮事項と各教科に共通する配慮事項を記入しています。

(様式1)

# 個別の指導計画

県立 高等学校

学年・組	1 年 組	校長氏名印	担任氏名印	期間
氏 名				平成 年4月～平成 年3月

教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)		教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	
---------------------------	--	---------------------------	--

教科等	児童生徒の様子	年間指導目標
教科 ・ 業 領域 参加 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>公式を使って答えを出す数学や理科は得意だが、主人公の心情を理解したり、自分の考えを表現したりする学習が苦手である。</li> <li>授業への参加も概ね積極的で、興味のあることについては、他の生徒の意見を気にせず、何度も意見を発表する。</li> <li>好奇心旺盛で、独創的な質問や急いで答えを求めがちなので、他の生徒が違和感を感じることも多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の進め方や授業内容を理解し、落ち着いて参加することができる。</li> </ul>
生対 人活 面関 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の生徒の間違いをストレートに指摘してしまうことがあるが、本生徒に悪気はなく、友達との約束や学校の規則はきちんと守る。</li> <li>周囲に振り回されず、どんな時も自分のペースを大切にしている。</li> <li>非常に真面目で、曖昧な表現をそのまま受け止めてしまう。</li> <li>友達にからかわれることがあり、一人でいることが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級の中で、教師や周囲の生徒の状況に配慮してかかわることができる。 (言葉かけ、注意の仕方、お礼や謝罪、誘い方等)</li> </ul>
そ の 他		

学年・組		1年組			氏名							
教科等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語	<p>&lt;現代文&gt;</p> <p>評論 「言葉」「子どもの問い」他            評論 「自然と人口」「思うと考える」他            小説 「羅生門」他            詩 「道程」「朝に」他            短歌と俳句 他</p>											
	<p>&lt;古典&gt;</p> <p>古文 「古文に親しむ」「竹取物語」他            古文 「徒然草」他            古文 「平家物語」他            漢文 「訓読み」他            漢文 「故事」「唐詩」他</p>											
	<p>&lt;支援・配慮事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明の文章に区切りを示したり、登場人物の心情を表現している部分に線を引いたりするなどしたプリントを準備する。</li> <li>・文章の構成や場面を図式化して別途示しておく。</li> <li>・作業の手順がはっきりしているドリル形式のプリントも活用する。</li> <li>・新出漢字にはルビを振って、国語への苦手意識を軽減する。</li> </ul>											
科保・健	<p>オリエンテーショ ン</p> <p>体づくり 運動</p> <p>陸上競技</p> <p>サッカー ボール</p> <p>サッカー ボール</p> <p>持久走</p> <p>バレーボール・柔 道</p> <p>バスケットボール</p> <p>卓球・バドミント ン</p>											
	<p>&lt;支援・配慮事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技への取組の際、人には得意・不得意、できることと難しいことがあることを本生徒に適宜説明する。</li> <li>・個人競技については、練習の手順を十分に説明し、自分のペースで取り組ませる時間を確保する。</li> <li>・集団競技への参加は無理強いせず、難しい場合には静かに見学することを提案する。</li> <li>・集団競技についても、個人練習の時間を取り入れ、個別に支援を行う。</li> </ul>											
等H	<p>オリエンテーショ ン</p> <p>遠足につ いて</p> <p>集団生活 について</p> <p>期末試験 に向けて</p> <p>体育祭 の準備</p> <p>レクレ ーション</p> <p>生徒会の 意義と選 挙</p> <p>学ぶ意味 と選 択</p> <p>ディベ ート</p> <p>ボランティア活動</p> <p>クラス文 集</p> <p>国際化と 日本</p> <p>ゲーム大 会</p> <p>タバコの 害</p> <p>文化祭の 準備</p> <p>男女交際</p> <p>2年次の 教科と選 択</p> <p>情報化社 会</p> <p>人権</p> <p>自由と責 任</p> <p>HR合宿</p> <p>学習の方 法</p> <p>いいとこ ろさがし</p> <p>部活動と 学業</p> <p>文化祭を 振り返っ て</p> <p>体育祭・ 文化祭を 振り返っ て</p> <p>親と子</p> <p>大学の学 部と学科</p> <p>進路情報 の収集</p> <p>カラオケ 大会</p> <p>別れの会</p>											
	<p>R &lt;支援・配慮事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活の中で生じる問題を、生徒同士の中で互いに協力しあうことで解決につなげるよう試みる。</li> <li>・担任が本生徒への望ましいかわり方を他の生徒にさりげなく示す。</li> <li>・集団行動や対人関係を円滑にするために、適宜学級全体で話し合う。 (学級全体で社会生活上必要となるスキルについて考える機会を設ける。)</li> </ul>											
その他	<p>ここでは特に支援を行う教科・領域を記載している。各教科・領域の詳細はシラバスを参照すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査については、次の配慮をする。</li> </ul> <p>&lt;全生徒に対して&gt;・評価の観点と方法の予告 ・レポートの提出            ・授業内容の理解が不十分な生徒への補習の実施</p> <p>&lt;本生徒に対して&gt;・問題用紙の拡大 ・必要に応じて別室での口頭試問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の前に生徒全員が教科書やノートを机に出しているかを確認する。</li> <li>・授業中の質問のルールを学級全体で適宜確認する。</li> <li>・授業の始まりに、前半と後半の主な学習内容・活動を全員に伝える。</li> <li>・得意な数学や理科での学習でしっかりと自信をつけさせる。</li> <li>・いらいだちが見られたときは、自分の気持ちを落ち着かせる方法を提案する。</li> </ul>											

学年・組		1年組	氏名					
教科等	学期の指導目標	指導内容・指導方法・手だて等	指導記録					
			指導の			評価		
			目	内	方	指導の経過と評価	検討課題 (次学期に向けて)	
標	容	法						
教科 授 業 参 加 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>質問のルールを守ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の前にルールを確認する。 「質問は3回まで。」 「他の生徒の発言中は発言しない。」</li> <li>ルールが守れたときは、しっかりと称賛する。</li> </ul>	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>発言を控えようとしていたが、聞きたいことをそのままにしておくことにいらだちを見せていた。</li> <li>自分の発言に対する他の生徒の高ぶりや緊張に合わせて、突然大きな声を出すことがあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールを書いたメモを筆箱や机の上に貼り、常にルールを意識させる。</li> <li>指導者は、冷静に、簡潔に、状況に応じてルールを説明する必要がある。</li> <li>いらだったときの具体的な対応を検討し、本生徒に助言するとともに、関係の教員で確認する。 「相談室に行く。」 「深呼吸をする。」 「肩の力を入れたり抜いたりする。」</li> </ul>	
	<p>&lt;参考&gt; 発達障害のある生徒への指導・支援や配慮については、文部科学省の特別支援教育の推進に関する調査研究協力者会議高等学校ワーキンググループ報告「高等学校における特別支援教育の推進について(案)」などが参考になります。</p> <p>障害の特性に応じた教科指導の配慮や工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>板書やプリントの工夫</li> <li>わかりやすい指示(あらかじめ段取りを伝える)</li> <li>グループでの共同学習(作業的な内容)</li> <li>放課後の補習</li> <li>特別支援学校学習指導要領の自立活動に類した取組 社会上必要とされるスキルを身に付ける学習 自らの心の動きや感情の変化を知ってコントロールする学習 個々の認知の特性とそれへの適切な対応を学ぶ学習</li> <li>ICT機器等の効果的な活用</li> <li>デジタルカメラによる黒板の撮影</li> <li>パソコンを使ったノートテイク</li> </ul> <p>多様な評価方法やテストにおける配慮～公平性を旨とすることが基本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーテストの実施に加えてレポートを提出</li> <li>日常の授業への関心・意欲・態度等の観点を踏まえた評価</li> <li>シラバスに授業内容や評価方法を掲載し事前に知らせる</li> <li>問題用紙の拡大</li> <li>筆記試験に加えて(代えて)口頭試問やヒヤリングを実施</li> </ul>							
生 対 人 活 関 面 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲のよい友達とうまくかわる方法を身に付けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達への声のかけ方や誘い方、お礼や謝り方などを放課後や昼休みの落ち着いた時間に、具体的に説明する。</li> <li>友達とうまくかわれているときに、しっかりと評価する。</li> </ul>	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習したかかわり方で3人の友達と遠足を楽しむことができた。</li> <li>小グループでの活動には、教師の支援によりスムーズに参加できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分と友達には考えや意見の違いがあることを引き続き説明する。</li> <li>いろいろな規模(人数)のグループに参加する機会を設定する。</li> <li>困ったときに相談する教員や友達を本生徒と一緒に確認するとともに、本生徒に理解のある生徒からも考えを聞いておく。</li> </ul>	